

市営バス経営戦略（現行版）

主要な具体的取組

【基本戦略】	Ⅰ 安全・安心な運行サービスの提供
【個別戦略】	① 安全対策の強化
【具体的取組】	(Ⅰ) 安全運転研修の実施

乗務員研修の深度化

- 「高槻市営バス人材育成方針」に位置付ける教習制度の構築
 - ・ 「高槻市営バス人材育成基本方針」に示した、研修制度の体系化や研修の目的の明確化を行うため、方針に位置付ける教習制度の構築を検討した
- 他バス事業者（阪急バス）乗務員研修への参加
 - ・ 当部でも取り入れることができる取組について検討を行うため、今年度は市営バスの研修担当者が「ドライバーズコンテスト」を見学し、安全に関しての知見等を深めた

2 研修制度の体系化について

職員に求められる知識や能力は、役職や職務内容によって異なります。これまでも上記のとおり職員研修を実施してきましたが、交通部において制度化された研修は運転士を対象としたもののみで、職員の習熟度合い等も考慮したものではありませんでした。

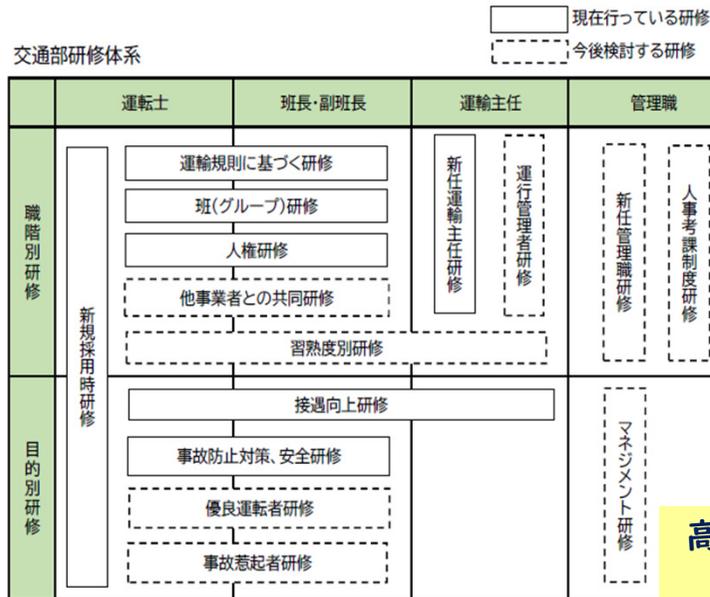
これからの研修制度の課題としては、研修制度を体系的に整理し、在職年数や階層、職種等に着眼して、効果的な研修を行うことが必要です。そのため、まず職員の研修を次の3つの柱に区分して、それぞれの役割にあった研修を研究・検討していきます。

- ・ 運転士の研修
- ・ 運行管理者の研修
- ・ 営業所管理職の研修

3 研修の目的の明確化

業務上必要な知識を学ぶための研修ですが、研修を実施する側と受講する側の双方において、何が組織の課題で、何を学ぶのか(伝えるのか)の認識が一致していなければ有意義な研修とはなりません。

そのためには研修の目的を明確化し、何を学び業務に活かしていくのかを理解して受講できる体制とすることが必要であり、研修の各カリキュラムについて、その目的を明確化し、意識レベルの共有化が図れる手法について研究します。



ドライバーズコンテスト
 (出典：阪急バスYouTube
 公式チャンネル)

高槻市営バス人材育成基本方針
 (抜粋)

■今後の展望

- ・ 他バス事業者の研修を交通部の班研修に取り入れ、今後の安全研修として「高槻市営バス人材育成基本方針」の乗務員研修に位置付ける。

【基本戦略】	2 快適で質の高いサービスの提供
【個別戦略】	② 利便性の向上
【具体的取組】	(1) バス停留所の利便性・快適性向上

バス停留所台帳のデータベース化

●現状と課題

- ・既存のバス停留所台帳データは、適切な維持管理を行うための情報が不足し、データ更新が実施されていなかったが、昨年度までに写真撮影を含む現地調査を完了

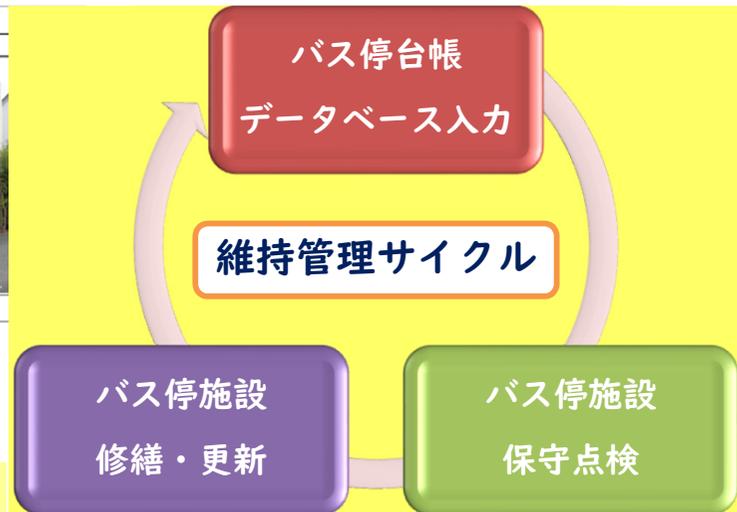
●データベース化の完成

- ・施設整備に対する要望、意見やそれらに対する対応等について整理されたものとした
- ・今後の維持管理を踏まえ、①近接地の状況、②道路占用、③補修履歴等の情報を記載した
- ・①現況写真、②位置図を掲載し、交通部全職員が活用できるよう共有サーバに保管予定

■高槻市営バス停留所台帳（その1：諸元）		■高槻市営バス停留所台帳（その2：写真）	
管理番号	作成年月日：令和6年4月17日	【現況写真】	撮影年月日：令和6年11月22日（くもり）
【停留所名称】	大和北	全景	左斜め
【往路・復路・簡略】	復路	①基本形式	パネル式
①	阿武山・塚原線	【上 屋】	
②		①基本形式	鉄製
③	-	【ベンチ】	①基本形式
④	-	【照 明】	①形式
⑤	-	【時刻表】	①設置箇所
⑥	-	【近接用地】	
⑦	-		
【所在地】	茶臼原二丁目23番26号先	【その他施設設置物】	
【管轄営業所】	緑が丘		
【道路名称】	（市道）阿武野茶臼原線	【道路情報】	①バスベイ
【その他情報】	①占用状況：阿武野茶臼原線 歩道道路占用（届出済み）		標準（幅員m）
	②地下埋設物：詳細は不明		②歩道幅員(m)
	③不法占拠等：なし		
【補修履歴】	平成4年3月11日	（補修内容）	上屋設置（2m×9m）住都公園の
	令和6年7月10日	（補修内容）	上屋撤去
	令和7年3月 日	（補修内容）	建替え（2m×5m）公営交通事業
	年 月 日	（補修内容）	



バス停留所台帳（データベース）



■今後の展望

- ・データベースを活かして計画的な施設の維持管理を行い、適宜・適切にデータを更新する。

【基本戦略】	2 快適で質の高いサービスの提供
【個別戦略】	② 利便性の向上
【具体的取組】	(2) キャッシュレス決済の導入

市営バス利用者の利便性向上を踏まえたキャッシュレス決済の導入

●現状と課題

- ・現状、市営バス定期券の購入等に際して現金のみの取扱いとなっていることから、利用者から「キャッシュレス化の導入」を要望する声が多い

●定期券等販売窓口へのキャッシュレス決済導入

- ・主要なクレジットカード及び各種ネット決済の導入を実施（令和7年3月3日開始予定）
- ・対象取引：定期券、企画券、市営バスオリジナルグッズ
- ・決済端末導入場所：市営バス営業所・案内所（5か所）の窓口に8基導入（窓口1台当たり1基）

キャッシュレス決済端末 (イメージ)



使用可能な決済種別

クレジットカード	VISA	JCB	MasterCard	AMERICAN EXPRESS	Diners Club INTERNATIONAL	DISCOVER	
電子マネー	PiTaPa	WAON	Edy	nanaco	交通系電子マネー	iD	QUICPay
QRコード	PayPay	d払い	au PAY	Pay	ゆうちょPay	Smart Code	

■今後の展望

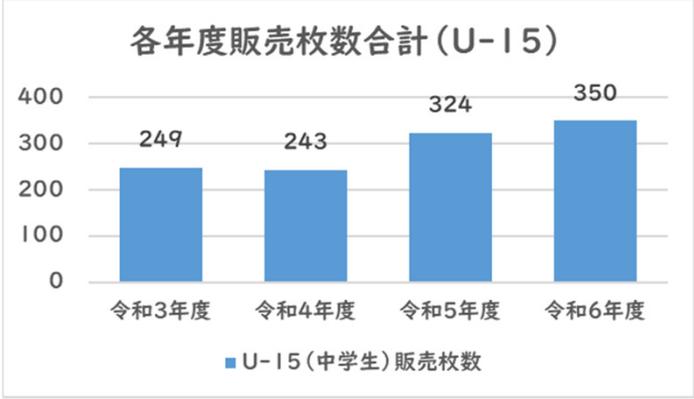
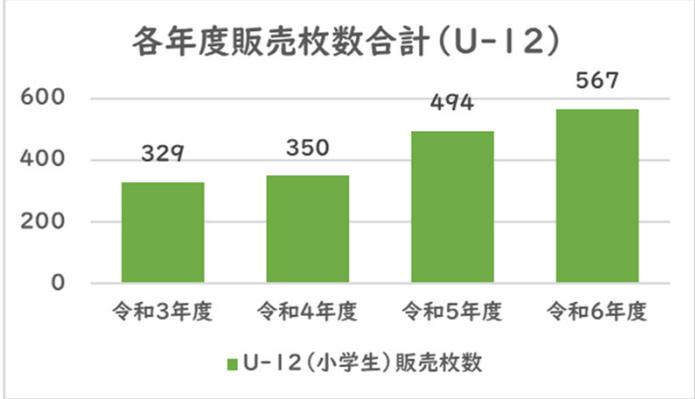
- ・運賃箱におけるクレジット決済等の導入に向けた検討を引き続き実施する。

【基本戦略】	2 快適で質の高いサービスの提供
【個別戦略】	② 利便性の向上
【具体的取組】	(4) 新たな企画券及び年間定期券の導入検討 (1/2)

おでかけパス（小・中学生向け企画乗車券）の販売

●市立小・中学校との連携強化（令和6年度）
 子育て支援や将来顧客確保の観点で生まれた企画乗車券。教育委員会の協力を得て昨年度からは市立小・中学校の全学年児童・生徒に配布し告知を強化。今年度も引き続き実施したが小・中学生とも12月末の段階で前年度通年（一年間）の販売枚数を上回っている

<販売枚数の推移>（令和6年12月まで）



■今後の展望

- 紙乗車券のためご利用回数を確認できないことが課題のため、QRコードを利用した乗車証など新たな手法の導入を研究する。

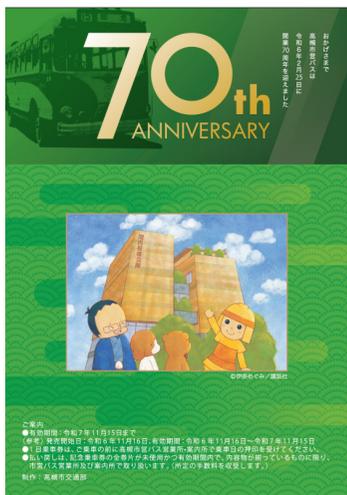
【基本戦略】	2 快適で質の高いサービスの提供
【個別戦略】	② 利便性の向上
【具体的取組】	(4) 新たな企画券及び年間定期券の導入検討 (2/2)

市営バス開業70周年 & 新関西将棋会館オープン記念乗車券の製作

- 高槻市営バスは昨年2月25日に開業満70年の節目を迎えた。これを記念し、お客様や市民とともに70周年をお祝いするというコンセプトで、記念事業を実施
- 昨年11月には、関西将棋会館が高槻市に移転オープンしたことを記念してコラボレーションを行い、「高槻市営バス開業70周年記念&新関西将棋会館オープン記念乗車券」を製作
- 高槻市にゆかりのある棋士4名と「将棋のまち高槻」のラッピングバスをデザインし、11月16日の「高槻将棋まつり」会場で先行販売、翌17日から市営バスJR高槻駅南案内所で通常販売を開始、歓迎・祝福ムードを演出した



記念乗車券台紙 (表面)



記念乗車券台紙 (裏面)



記念乗車券台紙 (中面) と乗車券

■ 今後の展望

- ・ スルッとKANSAI協議会で開発中の「スルッとQRtto (QR乗車券サービス)」やKANSAI MaaS等新たな乗車券サービスの動向を見据えながら、誘客につながる市営バス企画券を研究する。

【基本戦略】	2 快適で質の高いサービスの提供
【個別戦略】	② 利便性の向上
【具体的取組】	(5) 先進的車両の導入検討（自動運転技術等）

「ドライバー異常時対応システム（EDSS）」搭載車両の導入

- 令和5年度の更新車両から、運転士の異常をカメラで検知し、自動でドライバー異常時対応システム（EDSS）を作動させるドライバーステータスマニター（DSM）を搭載、令和6年度も増車した
- EDSS導入率41/166両＝約24.7% DSM導入率20/166両＝約12.0%（令和7年1月末時点）



ドライバー異常時対応システム(EDSS)及びドライバーステータスマニター(DSM)搭載車両



ドライバーステータスマニター(DSM)専用カメラ



乗務員の脇見・閉眼・運転姿勢の検知を妨げない位置にカメラを設置

ドライバーステータスマニター(DSM)専用カメラの検知イメージ
(出典：いすゞ自動車ホームページ)

■今後の展望

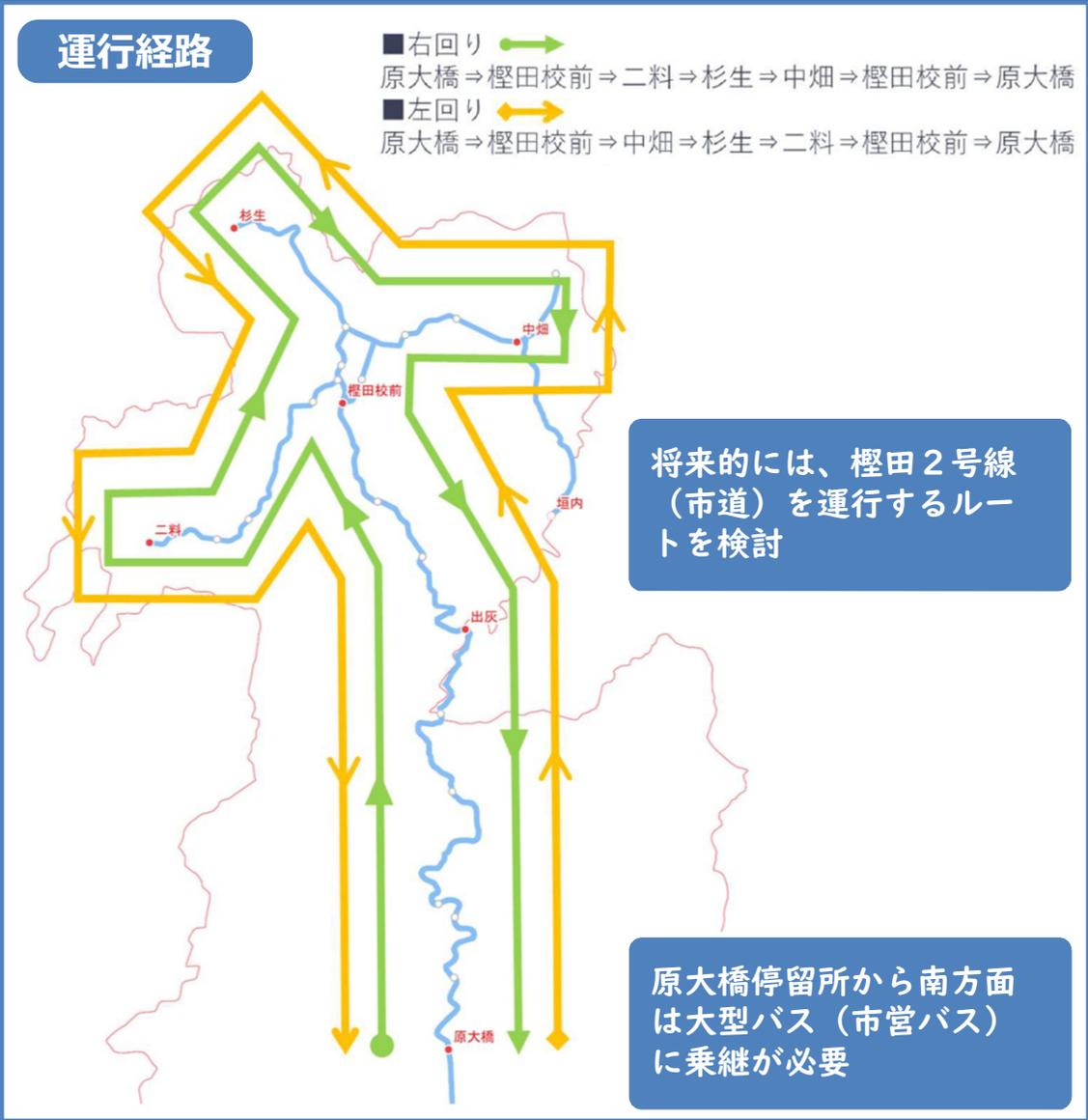
- ・技術開発の動向並びに国の方針や法整備等を踏まえながら、車両更新のタイミングで最新の安全装置等の導入を検討する。

【基本戦略】	2 快適で質の高いサービスの提供
【個別戦略】	② 利便性の向上
【具体的取組】	(6) 交通需要や市民生活に即した路線再編及びダイヤ適正化 (1/2)

「山間3路線（田能線）」における適切な交通手段の導入 (1/2)

- 市の交通政策担当部局と連携し、榎田・萩谷・川久保の住民（自治会関係者等）と意見交換を実施
- 継続的に意見交換を重ね、田能線沿線の榎田地域から、デマンド交通実証運行実施の要請を受ける
- 榎田地域住民から地域内を循環できる公共交通の運行を求められてきたことから、右図に示す運行経路を検討
- デマンド交通の事業主体は、交通部・都市創造部とし、運行主体（運行パートナー）は車両及び運転士の手配を担う交通事業者を検討
- 榎田小学校が特認校※のため、大型バス（市営バス）を利用して通学する児童が多いことから、登下校時の大型バス（市営バス）運行は継続

※従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの



【基本戦略】	2 快適で質の高いサービスの提供
【個別戦略】	② 利便性の向上
【具体的取組】	(6) 交通需要や市民生活に即した路線再編及びダイヤ適正化 (2/2)

「山間3路線（田能線）」における適切な交通手段の導入 (2/2)

今後のスケジュール

年度	取組事項
令和6年度	運行体制の検討
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ○予約方法等住民講習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーション走行、予約システムの使用方法等の体験会の実施 ○実証運行開始 <ul style="list-style-type: none"> ・11月開始予定 ○ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対し、所感や改善点等をヒアリング
令和8年度～	実証運行の評価により、本格運行の可否を判断

＜期待される効果＞

- 小型車両（普通2種免許）で運行することにより、運転士（大型2種免許）不足に効果があり移動手段の維持・確保が図れる。
- 地域内を循環して運行することで、地域内移動が可能となり、運行便数も増加することから利便性が向上する。

■今後の展望

・榎田地域の実証運行開始を踏まえ、他地域との意見交換を引き続き丁寧に行う。

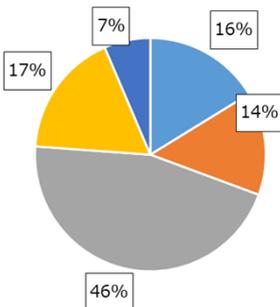
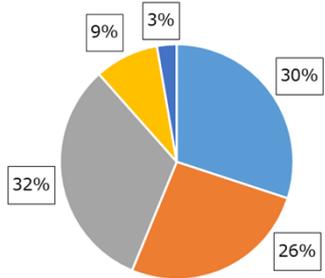
【基本戦略】	2 快適で質の高いサービスの提供
【個別戦略】	④ 顧客ニーズの的確な把握
【具体的取組】	(1) アンケート調査等の実施

高槻市営バス 利用者アンケート調査の実施

- 令和6年度から7年度に掛けて検討する「高槻市営バス経営戦略の改定」を踏まえ、利用者アンケートを実施
- 2か月間の無記名式アンケートにも関わらず有効回答数が2,426となり、市営バス事業への関心の高さが表れた

市営バス運転士の運転・接客等に対する評価

市営バスのバス停施設に対する評価



左・中：アンケート調査結果（抜粋）
右：市公式LINEでのアンケート告知

- <主な自由意見>
- 「公営バス事業を維持してほしい」
 - 「高年齢者福祉乗車制度を有料化したほうがよい」
 - 「運転士ごとに運転技術や接客態度に差がある」ほか
 - 「運賃値上げをしてもダイヤを増便してほしい」
 - 「引き続き、無料制度を維持してほしい」

■今後の展望

令和6年度に実施した利用者アンケート調査を踏まえ、経年的な傾向を把握するための定期的なアンケート調査の実施を検討する。

【基本戦略】	2 快適で質の高いサービスの提供
【個別戦略】	④ 顧客ニーズの的確な把握
【具体的取組】	(2) ODデータの活用検討

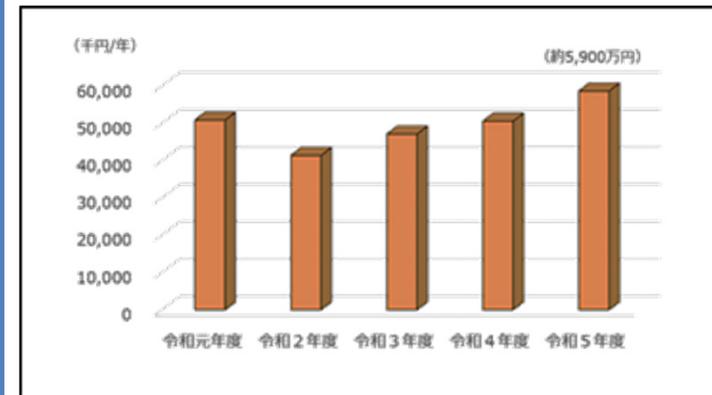
市営バスサービス及び事業の効率化を踏まえたDX化の推進

<市営バス事業におけるDX推進の必要性>

- 市営バスでは、ダイヤ営業所システムやバスロケーションシステム、会計システムなど様々なシステムを導入しているが、属人的な管理となりがちで、組織全体での最適化が図られていない
- システムの属人化による非効率な状況から脱却し、組織全体から見たシステムの最適化を達成し、再発させないためにはICTガバナンスを確立させ、推進していくことが必要
- 生成AIやRPAツール、BIツール、ノーコードツールなどのデジタルツールの登場や、自動運転バスの実験が進められていること、QRコードや顔認証等を活用した決済手段の多様化等を踏まえ、デジタル技術を理解し適切に活用できるDX人材の育成が重要

<市営バスDX推進基本方針>

- 国や高槻市の動向などDX推進の背景、各種システムの概要や構成図、市営バスが目指すDX推進の方向性などを取りまとめた「市営バスDX推進基本方針」を令和7年2月に策定
- DX推進に向けた5つの基本戦略
 - (1) デジタル市営バスの実現によるお客様サービスの向上
 - (2) 市営バスサービスの向上に集中するための働き方改革に向けた基盤整備
 - (3) 組織体制の整備・人材育成
 - (4) 各種システムの最適化及び効率的な運用
 - (5) セキュリティ対策の徹底



市営バス事業におけるシステム関連経費の推移

■今後の展望

- ・市営バス事業の効率化を踏まえたDX推進の取組と、その前提となる人材育成について、市のDX推進と連携しながら検討を進めるとともに、具体的な取組に着手する

【基本戦略】	2 快適で質の高いサービスの提供
【個別戦略】	⑤ 効果的な情報発信とブランド力の向上
【具体的取組】	(2) 市営バスのファンを増やすためのイベント企画や参画

子どもたちなど市民等が集うイベントへの参画

- 「みどりのカーニバル」「たかつき産業フェスタ」などの市内で開催されるイベントや、「スルッとKANSAIバスまつり」などにブース出展とバス車両展示を実施
- 子どもを中心として市営バスと触れ合う機会を創出し、バスに関心を持っていただけるように取り組んだ
- 特に市内で開催したイベントでは、昨年度「市営バス開業70周年記念事業」で誕生したラッピングバス「たかつき ばすお号」を積極的に活用した



ラッピングバス「たかつき ばすお号」と他バス事業者の子ども運転席先行事例
(出典：新潟交通ホームページ)

たかつき産業フェスタ（令和6年）

■今後の展望

・北陸や関東のバス事業者で導入事例がある「子ども運転席」について、「たかつき ばすお号」への設置を検討する。

【基本戦略】	3 まちづくりと連携したサービスの提供
【個別戦略】	⑥ 定住促進・子育て支援との連携
【具体的取組】	(2) モビリティ・マネジメントの体系化

ベビーカーを利用したバスの乗り方教室

- 子ども保健課の離乳食教室「ぱくぱく教室（対象：7か月～10か月頃の乳児とその保護者）」11月20日開催分の後に実施。ぱくぱく教室の応募者13組中、9組がベビーカー教室に参加された（会場：子ども未来館）
- 隣接する安満遺跡公園の関係者駐車場に大型路線バスを配置し、実際にベビーカーでの乗車や車内での安全な乗車方法について体験教室を開催
- 参加者アンケートでは「本日の体験教室を通して市営バスを一度（もっと）利用してみようと思いましたか？」の問いに、全ての参加者が「はい」と回答され、好評を得た
- 「ベビーカーだと躊躇してしまうこともあるけど、乗務員さんが協力いただけそうなので安心です。」などのご意見をいただいた

高槻市広報誌「たかつきDAYS」での募集告知と当日の様子



ID 029547 順 24組 対 7～10カ月
ぱくぱく教室+市営バスの乗車体験教室
 離乳食の講話と保護者試食、市営バスのベビーカー乗車体験
 日 11/18(月)14:00～ (60)
 場 高槻子ども未来館
 問 子ども保健課/Tel648-3272 申 11/3祝からHPで

チラシでのPR

市営バスに乗るとき
ベビーカーに赤ちゃんを乗せたまま乗車できます

乗るときは...
 乗降時にベビーカーを乗せたまま乗車できます。乗降の際は乗務員さんに声をかけ、乗降の補助をお願いします。

降りるときは...
 降りるときは乗務員さんに声をかけ、乗降の補助をお願いします。

※ベビーカーの構造によっては乗車できない場合があります。乗車の際は乗務員さんに確認をお願いします。

※乗車の際は乗務員さんに声をかけ、乗降の補助をお願いします。

※乗車の際は乗務員さんに声をかけ、乗降の補助をお願いします。

高槻市営バス



【基本戦略】	3 まちづくりと連携したサービスの提供
【個別戦略】	⑧ 観光促進との連携
【具体的取組】	(2) 安満遺跡公園等へのバス路線（系統）の設定検討

前島系統のご利用状況の変化

- 令和5年4月に既存の前島系統（前島・六中線）の運行経路を国道171号経由から安満遺跡公園経由に変更、お客様の利便性向上を図った
- 経路変更により、新たに市営バス沿線となった地域も含めて需要の創出に成功、前島系統の収支改善にもつなげることができた



前島系統の経路変更前後での利用者数比較				
	平日 平均	土曜日 平均	日祝日 平均	全曜日 平均
①令和4年度 (4～12月)	484人	418人	306人	440人
②令和6年度 (4～12月)	700人	578人	462人	638人
差 (②-①)	216人	161人	156人	198人
伸び率	1.45倍	1.38倍	1.51倍	1.45倍

- ・ 前島系統往路+復路平均（令和6年度は土日祝日の安満遺跡公園東止め区間便含む）
- ・ 令和4年度は天王町（国道171号）経由、令和6年度は安満遺跡公園経由

■今後の展望

- ・ 関西将棋会館、芥川城、地域共生ステーションなどの新たな観光資源・公共施設の整備や利用状況を踏まえ、引き続き路線開設についての研究を行う。

【基本戦略】	4 経営基盤の強化
【個別戦略】	⑨ 人材の確保・育成と組織力向上
【具体的取組】	(1) 運転士の確保

2024年問題を踏まえた運転士確保の取組

● 2024年問題への対応

- ・ 2024年4月の法令改正で1日の休息期間（終業時間から次の始業時間までの期間）が、「継続8時間」から「継続11時間を基本とし、継続9時間下限」に ※最低1時間延長
→乗務員不足に対応するため、始発便の一部繰り下げや最終便の一部繰り上げを実施
→奈佐原線、萩谷線、阿武山・塚原線のうちJR高槻駅北に直通する系統は、全てJR富田駅止めに（国道線の分離によるダイヤの均等化及び仕業の効率化）

● 運転士確保に向けた、採用試験の計画的な実施と広報活動

- ・ 年間採用試験実施計画を公表し、運転士の安定かつ計画的な確保に向けて取り組んだ。
- ・ 近隣の自動車教習所内やバス車内への掲示など、運転士確保に向けた広報活動を展開した
- ・ 新たに、今年1月から市営バスホームページ内に「採用情報サイト」を開設した

高槻市営バス採用情報サイトの開設 (令和7年1月)



令和6年度の新規採用状況と運転士総数(令和6年12月末時点)

採用試験実施回数	年間3回 (4, 8, 12月)
応募総数	17人
採用人数	8人
運転士総数 (令和6年12月末)	239人

■ 今後の展望

- ・ 令和7年度以降、他事業者でも事例が増えている「大型二種免許取得制度」の導入を実施する。
- ・ 大型二種免許未取得者の採用・育成方法について、引き続き情報収集や研究を行う。

【基本戦略】	4 経営基盤の強化
【個別戦略】	⑨ 人材の確保・育成と組織力向上
【具体的取組】	(3) 運転士グループワークの活性化

テーマを設けたグループワークの実施

- 運転士の各班（グループ）で、今必要であるテーマを設けて、班長・副班長が行っている安全への取組を共有した
- 令和6年度のグループワーク実施内容（抜粋）
 - ・ 接遇に関するロールプレイング
 - ・ 非常口扉の取り扱い操作
 - ・ 車種により異なる車いす用スロープ板の取り扱い操作 など



バス乗務員のグループ研修（班研修）

■ 今後の展望

- ・ 今後も引き続きグループ研修でテーマを設けて、班長・副班長等が行っている安全への取組を共有し、組織力の向上と接客サービスの品質向上を図る。

【基本戦略】	4 経営基盤の強化
【個別戦略】	⑩ 効率的な経営・収支の改善
【具体的取組】	(1) 広告料収入の増加

バス事業特有の媒体活用による広告料収入の増加

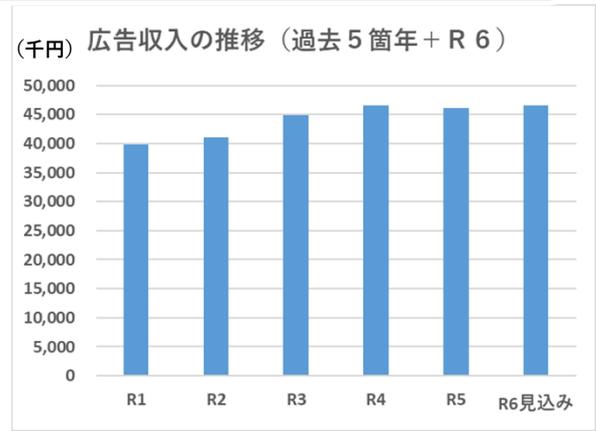
- バス停ネーミングライツの拡充
 - ・新たにバス停ネーミングライツを1件獲得した【道鶴町北口（サンユレック前）】
- バス車体ラッピングの拡充
 - ・バス車体ラッピングは、今年度も民間クライアントや市の施策PR等での拡充に努めた。特に令和6年11月にオープンした関西将棋会館関係のラッピング車は、今年度施工分が10台（※デザイン更新含む）となり、高槻将棋ライナー（2台）と合わせて存在感が増した
- 新たな営業活動の取組
 - ・市内の和菓子店へのバス型紙箱の提供（販売）や契約輸送に向けた医療機関へのアプローチなど、市営バスのブランド力を活かした営業活動を行った



バス停ネーミングライツ事例
(道鶴町北口)



バス車体ラッピング事例 (将棋のまち高槻)



■今後の展望

- ・高槻市営バスのブランド力や媒体力を活かし、運賃外収入等の更なる収益確保に取り組む。

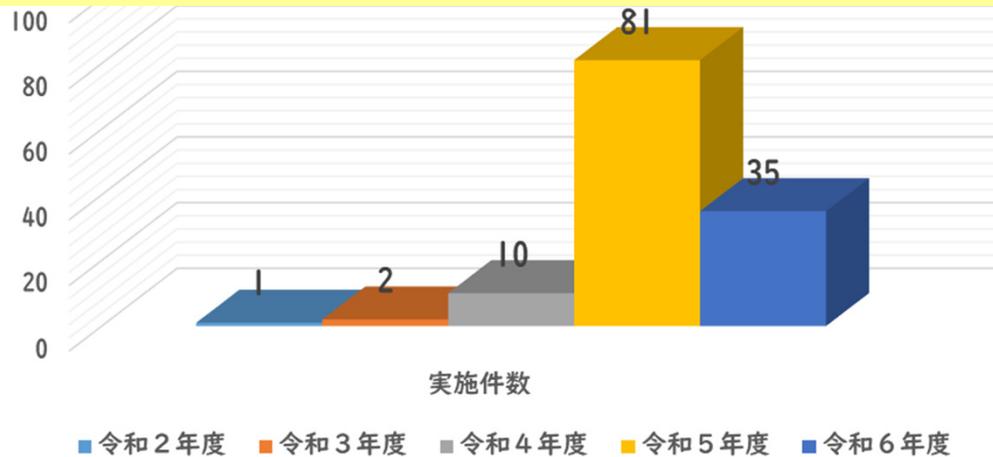
【基本戦略】	4 経営基盤の強化
【個別戦略】	⑩ 効率的な経営・収支の改善
【具体的取組】	(2) 市営バス事業運営の効率化

路線バス事業者の運賃（料金）改定状況

●バス事業経営を取り巻く状況

- ・路線バス事業者の多くは、消費税率引き上げに伴う運賃改定を除き、平成初期から長年低廉な運賃（料金）を変更することなく事業を継続してきた
- ・しかし、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う新しい生活様式の定着や人口構造の変化による旅客減少、燃料価格高騰等は経営への大きな打撃となり、経営努力の域を越えており、やむを得ず運賃（料金）の改定に踏み切った事業者が多い

一般乗合旅客自動車運送事業（路線バス）の運賃改定実施状況
＜令和2年4月1日以降＞



・グラフは日本バス協会公表の資料（更新日：R6.9.30）を基に作成 ※運賃改定実施日を基準に集計

高槻市営バスの運賃改定実施状況
＜平成5年4月1日以降＞

年度	改定内容 (均一制地帯・大人)	備考
平成5 (1993)	170円→180円(4月)→190円(10月)	実質値上げ
平成9 (1997)	190円→200円(4月)→210円(10月)	消費税率3%→5%
平成26 (2014)	210円→220円(4月)	消費税率5%→8%
令和元 (2019)	※対キロ区間制区域・定期券運賃のみ改定	消費税率8%→10%

■今後の展望

- ・市営バス事業の健全な経営環境の実現を踏まえ、今後、予想されるバス車両の更新や新たな投資に要する費用の平準化と原資の調達を合わせて検討する。